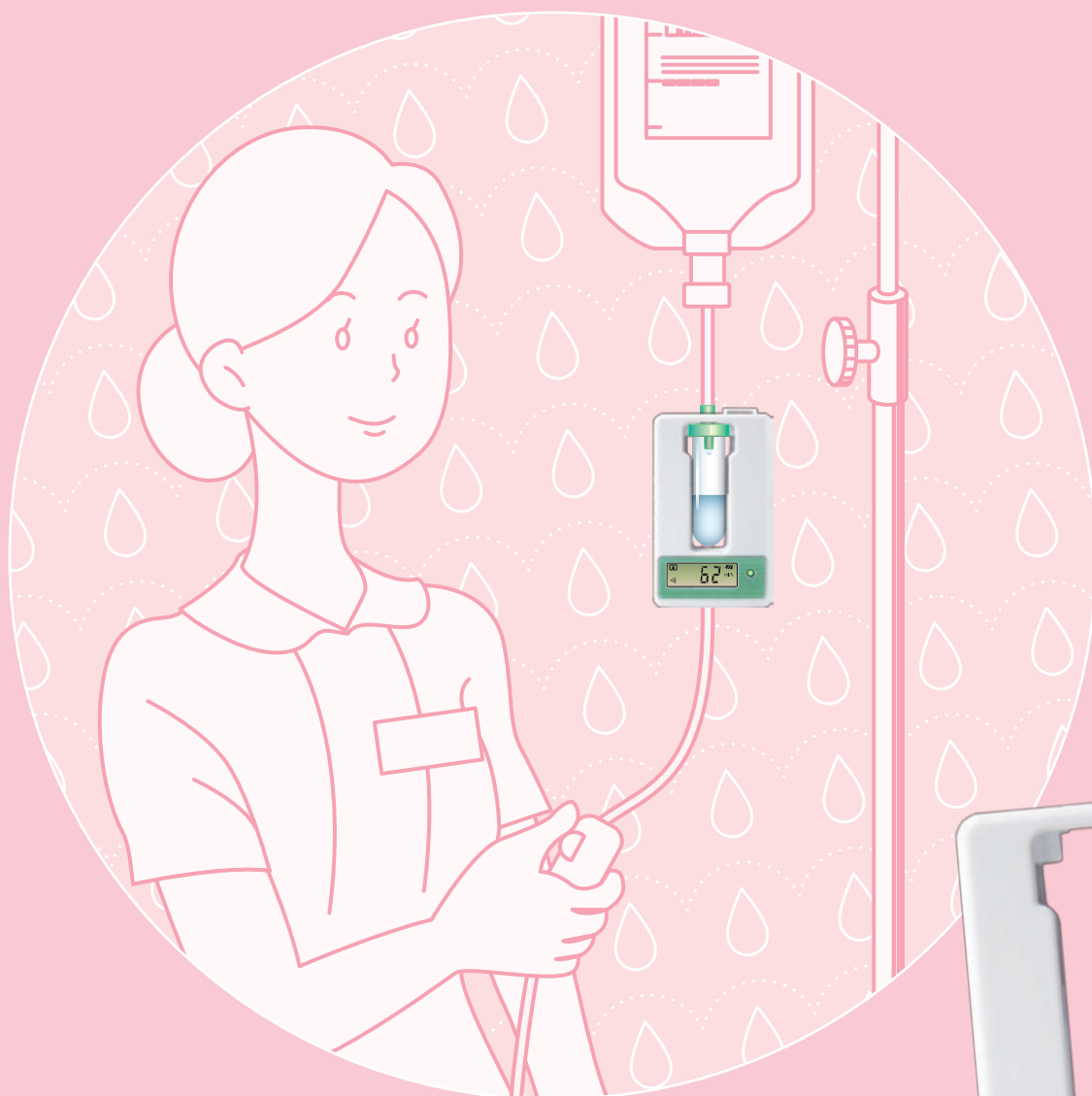


点滴セットを素早く、 正確にサポート

点 滴 セ ン サ
IDC-1501



センサーで

- 1時間の滴下量
 - 1分間の滴下数
- 瞬時に計測

異常時と終了時に
ブザー&ランプ
でお知らせ

本体が
傾いていても
計測可能

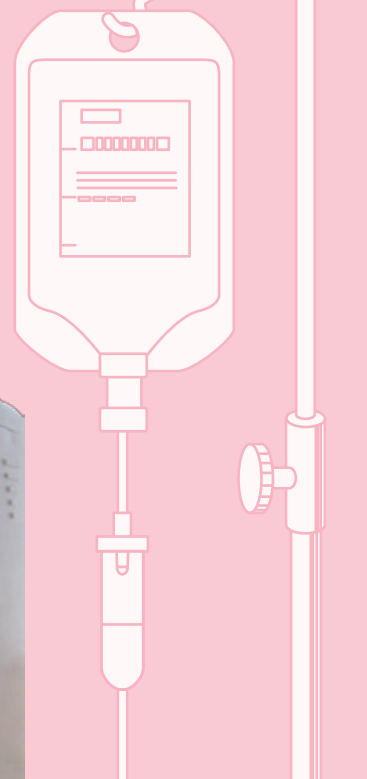
液晶が明るいため
夜間のセットも
安心

ポケットサイズで
手軽に持ち運び

点滴業務に 時間をとられていませんか？

点滴は、どの病院でも行われている日常的な業務であり、同時に、最も気を付けるべき医療行為のひとつです。そのため、滴下スピードの調整から見回りまで細心の注意と労力を要します。

IDC-1501は、日々の点滴業務を少しでもサポートできるよう開発されたセンサです。



1時間あたりの流量が表示されるから、セットがスムーズ

点滴筒にセットするだけで、滴下速度を計測し、1時間あたりの流量を表示します。指示された流量にあわせて調整するだけですので、滴下計算の必要がありません。



点滴筒に取り付けるだけで、センサーが滴下スピードを読み取ります

今のスピードだと
1時間に62ml投与
されるんだ…

指示では1時間に
50ml投与だから
もう少し遅くしよう



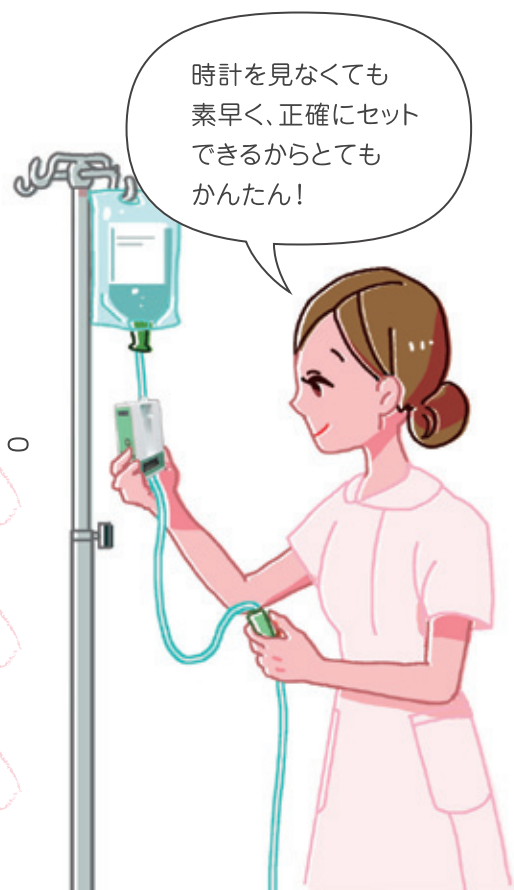
読み取ったスピードから、1時間あたりの流量を算出し、リアルタイムで表示します

ml/h
1時間あたりの
流量



/min
1分間あたりの
滴下数

瞬時切り替えができます



表示画面を見ながら、滴下スピードを調節するだけでOKです

アラームで滴下終了・滴下異常がすぐわかる



滴下終了(停止)時は、ランプ点灯とブザーでお知らせします。

また、1時間あたりの流量または1分間あたりの滴下数の最高値・最低値の設定をすることで、設定値範囲を超えた場合には、ランプ点灯とブザーでお知らせします。

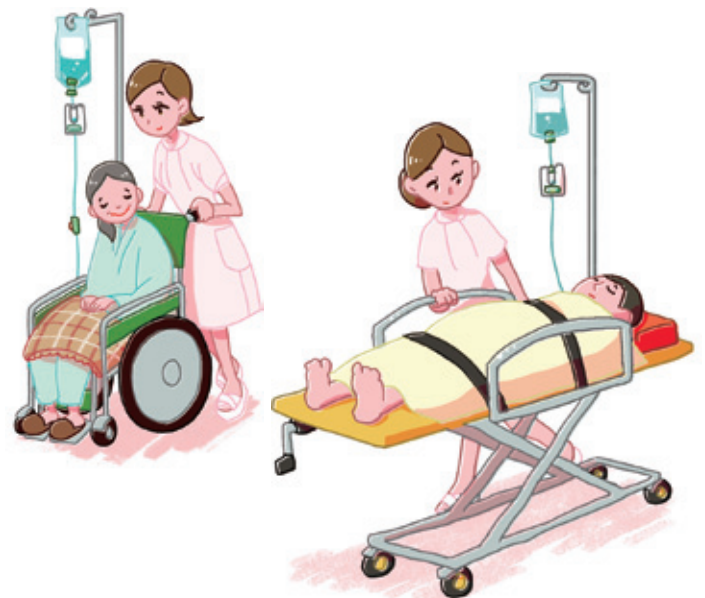
- ブザーの音量は、調整可能です(大・中・小・消音の4段階)
- 終了判定時間は、1秒から設定可能です

傾いていても計測可能、だから移動に強い

独自の特許技術の採用により、使用中に本体が傾いた状態でも、正確な測定が可能です。

(特許第5696297)

開封したばかりの癖の残るラインに対応できることはもちろん、揺れのある移動中も測定可能です。



液晶画面が明るいから 夜間のセットも安心

液晶画面が明るいので、滴下数や流量を鮮明に表示します。夜間や暗い場所でも、安心して点滴スピードの調整を行うことができます。



滴下を感知するたびにランプが点灯するので、暗所でも滴下状態を確認することができます



※ランプは通常時は緑、異常時は赤で点灯します

コンパクト・コードレスで 場所を選ばない

連続して約80時間以上の使用が可能です(アルカリ乾電池使用時)。コードレスで使用場所を選ばず、どこでもかんたんに持ち運びができます。



ポケットサイズなので、場所を問わず収納できます



電源がない場所でも活用できます

かんたん操作とシンプル表示で、直感的な操作が可能

操作パネル

対応輸液セット切替

20滴/ml
 60滴/ml

表示モード切替

1分間あたりの滴下数
 1時間あたりの滴下量

電源 (ON/OFF)

ブザー音量切替

設定変更

液晶画面表示

対応輸液セット

ブザー音量

滴下速度

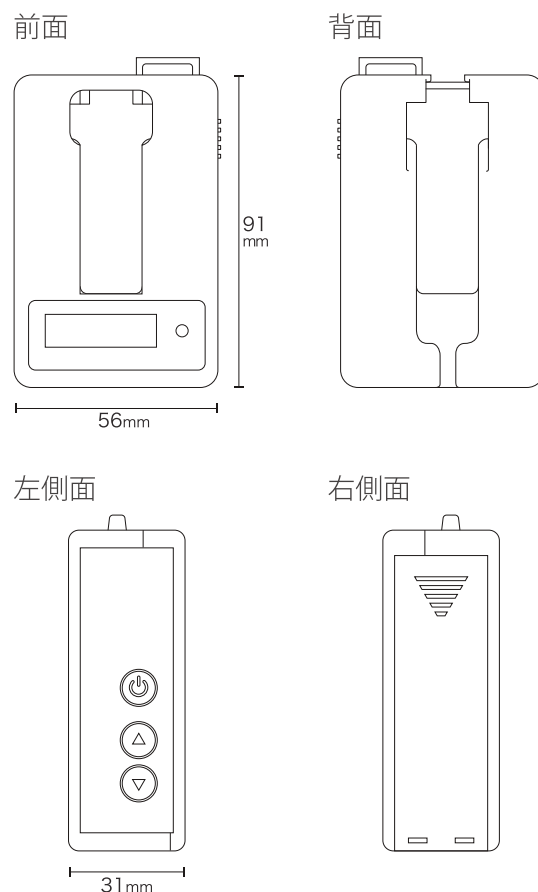
電池残量

ランプ

滴下異常とする設定値範囲を超えた場合もしくは滴下終了時に、ランプ点灯とブザーでお知らせします

点滴センサIDC-1501の主な仕様

販売名	点滴センサ IDC-1501
輸液方式	自然落下方式
対応輸液セット	20滴/mlおよび60滴/ml
計測精度	±10%
表示範囲	20滴輸液セット: 4~240 (/min) 12~720 (ml/h) 60滴輸液セット: 4~240 (/min) 4~240 (ml/h) ※4 (/min) 未満の場合は0表示
表示部	LCD (バックライトあり)
警報機能	下記の場合にランプ点灯及びブザー報知 ・滴下数または滴下量が設定値範囲を超えた場合 ・滴下終了 (停止) 時
電源状態通知	電池残量表示 電池切れ時、ブザー報知後に自動的に電源OFF 電池切れ前にブザーでも報知
電源	単4乾電池×2 ※アルカリ乾電池を推奨
連続稼働時間	80時間以上 (アルカリ乾電池使用時)
本体重量	約85g (電池含む)
外形寸法	W56mm×H91mm×D31mm (突起部除く)
付属品	単4アルカリ乾電池 (2本) つり下げ用ストラップ 取扱説明書、クイックガイド、添付文書、保証書



使用上の注意

※本製品は自然落下される点滴の滴下を測定するものであり、滴下量を制御する機能はありません。従って、滴下量に影響を与えることはありません。

※滴下量は、輸液セットの状態、人体の状態、流量の設定値などにより誤差が生ずるので注意が必要です。

※粘性の高い薬液の場合も、1滴あたりの量が少なくなるので注意が必要です。

※輸血には使用しないでください。

※通常、薬液の量が減るに従い滴下量が徐々に少なくなりますが、これは輸液バッグ内の圧力が低下するためであり、本装置によるものではありません。

※外乱光による影響を避けるため、直射日光があたる窓際は避けて使用してください。

※滴下量が厳密に指定されている場合や、極端に粘性の高い薬液の場合には使用しないでください。

ACTLAS 株式会社アクトラス

〒013-0033 秋田県横手市旭川2丁目2-32
 TEL 0182-33-2301 FAX 0182-33-0339
 ✉ info@actlas.co.jp <http://www.actlas.co.jp>
 医療機器製造販売届出番号: 05B3X10001000002

お問い合わせ先